



20日(金)、三崎小学校の3, 4年生が、宮川海岸に磯観察に行きました。講師は、観音崎自然博物館の山田和彦先生。(ちなみにこの日のTシャツは、カニでした)

子どもたちは、観察のコツを伝授してもらった後、一斉に海へ。最初は、岩をこわごわ歩いていましたが、

最後の方は、ひょいひょい歩くようになっていました。エビ、カニ、ハゼ、ヤドカリ、そしてクモヒトデを獲った子どもたちもいました。そのうち、さすが三崎っ子。海に入ってしまう子どもが続出して、すごい盛り上がりでした。(みんなちゃんと着替えも用意してありました)

山田先生からは、「三浦の海には色々な生き物がいることを知ると、海を大切にしようとする気持ちも出てくるでしょう。こういう体験を大切にしていましょう」というお話がありました。



同じく20日(金)、旭小学校3, 4, 5年生合同で磯観察が行われました。

講師は観音崎自然博物館の河野館長。はじめに危険な生きものの簡単な紹介と注意をしていただきました。

生きものを捕まえる際に「カニに挟まれそう」「ウニの棘が刺さりそう」と怖がっていた子どもたちも、本研究所の職員が「ウニは棘の先が吸盤状になっているから刺さらないよ、棘が動くと、くすぐったいくらいだよ」と、実際に手のひらに乗せて見せたところ、自分の手のひらにのせる決心をしました。感想を聞くと「棘がうごくとかくすぐったい」と、うれしそうな表情に変わりました。

お昼の時間に戻ってきた際には、捕まえた生き物を先生たちにアピールしていました。子どもたちの順応性に驚きました。

また、本研究所が、配付したエアポンプとバケツのセットが写真のように、大活躍していました。



たくさんの生きものと、たくさんの笑顔のあふれる磯観察になりました。

お願い 本研究所では、海洋教育写真コンテストを実施するためのクラウドファンディング(インターネット上での募金)を行っています。今のままでは、コンテストを実施できません。先生方のご協力をお待ちしています。3000円から参加できます。リターン(お礼の品物)もあります。ご協力いただける方は、本研究所(854-9443)にご連絡くだされば、すぐに対応いたします。クラウドファンディングの内容を知りたい方は、右のQRコードからアクセスできます。(文責 事務局長 渋谷)



海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで